



通信

HP 学校だより
R4. 11. 15
NO. 28
文責 伊藤美佳



とよさかっ子パワー 全開！

11月12日（土）に「150周年記念 とよさかっ子 Day」を開催しました。今回、舞台上に飾られた看板は、各クラス1文字ずつ書いてもらった児童の手作りです。全校で150周年を祝いました。

マスクをし、大きな声で話すことが難しかったこの3年間を考えると、果たして体育館の舞台上で演じたり、音読したりすることができるのか不安でした。しかし、この不安をみごとに打ち払ってくれたのはとよさかっ子のパワーでした。直接ご覧頂いた保護者の方々には感じ取っていただけたと思いますが、子どもたちの生き生きとした表情、一生懸命伝えようとする声と動き、気持ちのこもった歌声など、見、聞き入ってしまうものでした。

トップバッターは2年生。音読発表会「ニャーゴ」では、大きな声でせりふが言えていたことに加えて、その役になりきっていた子たちがたくさんいました。また、聞きやすいスピードでせりふが言えていて、ストーリーもよくわかりました。生き生きとした表情で歌う姿と歌声がすてきでした。

次は1年生です。音読劇「サラダでげんき」では、出てくる動物に合わせて、多くの歌が歌われました。また、伴奏を子どもがしている曲もあり、子どもたちで創り上げていてすてきでした。どの子も楽しく演じていて、見ているとりっちゃんのお母さん同様、元気をもらえました。

3年生は「76人のチャレンジャー」です。3年生で行った自分たちの活動を劇にしていました。ナスづくりや筆柿の選果場見学、運動会で踊ったソーランや音楽で学んだリコーダーの発表など、盛りだくさんな内容でした。最後の歌声はとてもすてきでした。

4年生は総合的な学習で取り組んできたSDGsを劇で紹介する「地球を守ろう ～わたしたちにできること～」でした。「SDGsって何？」と思っていた人にもよく分かるように話が展開され、子どもたちの演技はもちろん、パワフルな踊りや歌で笑顔になりました。

5年生は国語で宮沢賢治の「注文の多い料理店」を学習したことから、宮沢賢治の作品紹介として豊坂っ子劇場「どんぐりと山猫」を演じました。一人一人が自分で考えて演じていることが伝わってきました。「あかん。」という山猫のせりふは、何度聞いても思わず笑みがこぼれました。

6年生は社会で学習している歴史をおもしろおかしく紹介する「歴史っておもしろい！？爆笑！お笑い時代劇」を演じました。縄文時代から令和の豊坂小学校まで、長い歴史を楽しく見せてくれました。教育漫才を昨年から取り組んできた成果が発揮されました。

一番すてきだなと思ったのは、4年生の劇が終わって4年生が体育館外に出ていくと、5年生が拍手を送り、5年生の劇が終わったときは、6年生が5年生に拍手を送っていたことです。

どの学年の演目も感動しました！ とよさかっ子 すごい！

